

質問に対する回答

(医療・福祉施設等物価高騰対策支援事業業務委託に係る公募型プロポーザル)

No	質問事項	質問項目	回答
1	仕様書4(2) 対象施設数	支給予定の施設数については各何施設を想定しているか	過去の実績から概ね8割超を想定しています。
2	仕様書5(2) コールセンターの設置	コールセンター設置場所は日本国内で問題ないか	お見込みのとおりです。
3		事務局及びコールセンターの人数について、どの程度の人数を見込んでいるか。 また、前回実施時の体制は。	仕様書から必要な人員をお見込みください。 前回実施時の体制は、延べ14名で、そのうち、審査担当が5名、コールセンターが4名となっています。
4		電話は、フリーダイヤルを想定されているか。通話料は受託者が負担する認識で良いか。	指定はしませんが、発信者側の通話料が無料であることが望ましいと考えています。
5		想定問い合わせ数や過去実績・類似実績はあるか？	前回実施時のコールセンター受電数は1,686件でした。
6		仕様書5(3)③ WEBサイトの開設	WEBサイトは具体的に契約締結からどのくらいの期間で開設する必要があるか。
7		県庁ドメインでの作成は、LGPKI証明書の提出は必要か。	不要です。
8	仕様書5(4)① 広報	新聞掲載は、医療・福祉関連の新聞か、または東奥日報などの一般紙か。	県内3紙(東奥日報、デーリー東北、むつ新報)を想定しています。
9		前回実施時の広報媒体及び回数は。	県内3紙への広告2回、リーフレットの発送1回となっています。
10	仕様書5(5)①イ 申請書類の受付	前回の申請書類の郵送とWEB受付の割合は。	概ね5:5でした。(事業者からの聞き取り。括弧内は回答に掲載しません。)
11		申請が多くなる時期はいつか。	前回実施時では、申請期間9週のうち7週目までに総支給数の9割以上が申請されており、うち2~4週目が全体の5割程度を占めています。 (施設数を元に回答していますが、申請は法人単位であるため、実態と異なる可能性があります。)
12		前回利用されたオンライン申請フォームでの質問項目は。	HPに掲載した申請書様式(案)の項目を網羅してください。

No	質問事項	質問項目	回答
13	仕様書5(5)②ア 審査事務	事前に申請書類内容を確認することは可能か	HPに申請書様式(案)を掲載しましたのでご確認ください。
14		申請があった補助金額について、計算ツール等はあるか?	ありません。
15		前回の仕様では事前申請・本申請の2段階になっていたと思うが、今回の申請フローは。	申請に係る変更はなく、本申請のみとなっています。
16		前回のコールセンター対応人数に対して、申請件数、受電数は。	コールセンター：4名 申請(支給)件数：2,935法人 受電数：1,686件
17		前回の審査不備率は。	正確な件数は把握していませんが、軽微なものを含め、概ね5割程度を想定しています。(事業者からの聞き取り。括弧内は回答に掲載しません。)
18	仕様書5(6)④ 支給期限	支払日は週次、月次等の想定はあるか。	最低でも月1回以上を想定しています。 前回までは週1回で実施しています。